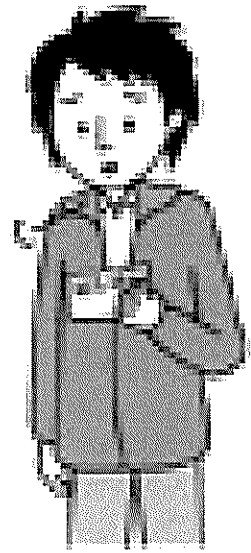


安倍首相！

参院選大勝でお間違えのないように。わたしは「アベノミクス」に少しばかり期待をしたのであり、決してあなたに白紙委任したわけではありませんからね。



「景気が良くなるという3本の矢」の中には、わたしたち庶民の懐を温める矢が一本もないのは分かっています。株が上がろうが、売る株もない私には関係ないことは分かっています。今年は賃上げがなかったこともはっきりしています。物価は着実に上がり、ガソリンは毎週のように上がっていることも分かっています。年金は下がりますよ、と通知が来ていました。

でも、安倍首相、あなたの「アベノミクス」に期待してしまったのです。何しろあなたも参議院選挙では、「アベノミクスで景気回復」としか言わなかったのですから。与党の公明党も「景気を実感」と言って、庶民が景気を実感するのは「これからですよ」と歩調を合わせていたのですから。

本当でしょうね、ウソついたらいけませんよ。

わたしにとって「景気回復」とは賃金が上がることです。正社員としてまともな職場で働けることです。年金の受け取り額が増えることです。いつまで待てば、景気回復が実感できるのでしょうか。いつまでも辛抱しきれません。アベノミクス、本当でしょうね。

ところが、参議院選挙で大勝したからといって、わたしは、あなたにすべてお任せ＝白紙委任をしたつもりはありませんよ。

東京電力は放射能汚染水が海に漏れていたと開票後に発表しましたが、福島事故は収束していません。何より15万人が故郷に変わることができていないのですから。それなのに、原発を再稼働だとか、原発を輸出するだとか、わたしはそれには反対なんですよ。

それに、うちの家計のことを考えたら、消費税は上げて欲しくないんですよ。

**安倍首相よ、勇ましいことではなく、
庶民のくらし第一の政治をやいなさい**

原発の住民投票条例は拒否！

憲法96条では、主権者の意思
表示できる機会を増やそう！



「自分の意見を通したい時だけ国民投票を利用 したいという身勝手さ」 自民党、日本維新の会

2013年7月16日の中日新聞の「中日春秋」にこんな記事がありました。

▼どこか「嫌物」のにおいがする。憲法九六条の先行改正論だ。衆参どちらかの三分の一の議員の反対で国民が判断できないのは問題。主権者が意思表示できる機会を増やそう。自民党や日本維新の会の主張である▼ならば、再稼働反対の世論が賛成を上回る原発の住民投票にどう対応したのか。原発稼働の是非を問う住民投票条例の制定を求める請求は大阪市、東京都、静岡県、新潟県と続いたが、大阪市以外、自民党は相手にしなかった。橋下大阪市長、石原慎太郎前都知事も冷淡だった▼九六条改正の世論は反対が多い。自分の意見を通したい時だけ国民投票を利用したいという身勝手さが見抜かれているからだろう▼かつて自民党の指南役だった慶応大の小林節教授は「(首相は)『憲法を国民に取り戻す』と言うが、権力者が国民を利用しようとしている。改正でなく憲法の破壊だ」と批判している。「護憲的改憲派」を名乗る憲法学者の意見に同意する。

「国民の不断の努力によって」(日本国憲法第12条)

憲法を守り生かしていきましょう